

— 女性対象 —

HPV 検査

(ヒトパピローマウイルス)

のご案内

2022年度より **実施中!**

自宅で
カンタン

自宅で子宮頸がん検診!

忙しい!

病院に
行くのが面倒!

内診に
抵抗がある!



という方におすすめです!

健診を申込みされた女性 は、HPV 検査の郵送検診を受けることができます!

※子宮頸部細胞診と HPV 検査の両方を受けることはできません。

HPV とは?

HPVとは「ヒトパピローマウイルス」の略で、子宮頸がんの主な原因とされるウイルスのことです。HPVは主に性交渉によって感染し、**性交渉経験がある50%以上の女性が一度は感染する**といわれている、ごくありふれたウイルスです。



HPV 検査 とは?

子宮頸がんの原因と言われているハイリスク型ヒトパピローマウイルスの感染を調べる検査です。**がんになっていなくても HPV に感染していることが分かれば、将来病変が進行したり、子宮頸がんになるかもしれないという予測が可能**になります。(ハイリスク型 HPV に感染していても必ず子宮頸がんになるわけではありません。)また、早期に発見すれば比較的治療しやすく予後のよいがんですが、進行すると治療が難しいことから、早期発見がきわめて重要です。

ダイキン健保では、2022年度に導入してからこれまでにのべ796名の方が受診されました!

子宮頸がんが広い世代で急増!

20~30代の若い方に急増

性交渉経験が低年齢化していること、この年代層の受診率が低いことが原因と考えられています。

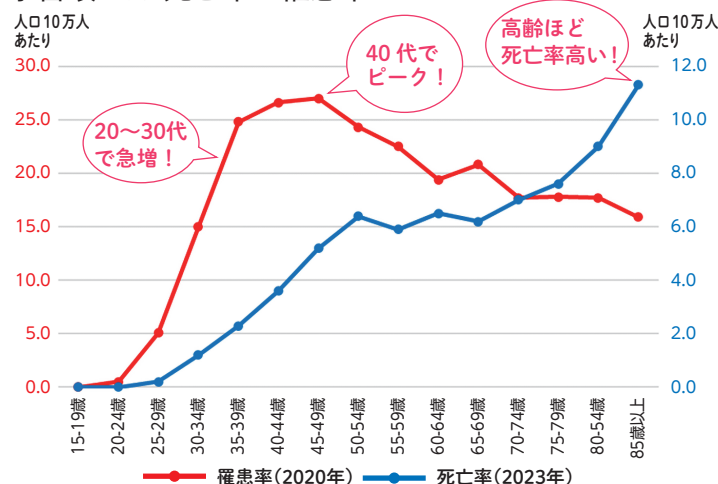
罹患のピークは40代

子宮頸がんは「マザーキラー」とも呼ばれ、子育てや仕事に忙しい年代に罹患のピークが重なっています。

高齢になるほど死亡率が高まる

高齢の方は検診も積極的には行かず出血や痛みなどで病院に行き診断されることが多いため進行して見つかるケースが多いです。

子宮頸がん 死亡率・罹患率



国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録統計」より

HPV 検査はどうやって受けるの? ※妊娠中の方は HPV 検査に申込みできません。

ステップ0 まずは健診にお申込みください(固定施設型か巡回型のみ HPV 検査可)

ステップ1

お申込み

健診申込書の固定施設型か巡回型の必要事項をご記入の上、申込書下の HPV 検査に○をしてください。

ステップ2

検査キットが届く

委託先から検査キットが自宅に届く

ステップ3

検体を採取して送る

自宅で採取し、郵便で委託先へ送る
※詳細は裏面へ

ステップ4

結果が届く

3週間ほどで郵送で結果が自宅に届く

所見なし

今後も定期検査を受けましょう

所見あり

病院紹介と、紹介状を送付しますので、二次検査を必ず受けてください
(希望により、病院紹介、紹介状の作成を行います)

〈HPV検査委託先:メスブ細胞検査研究所〉

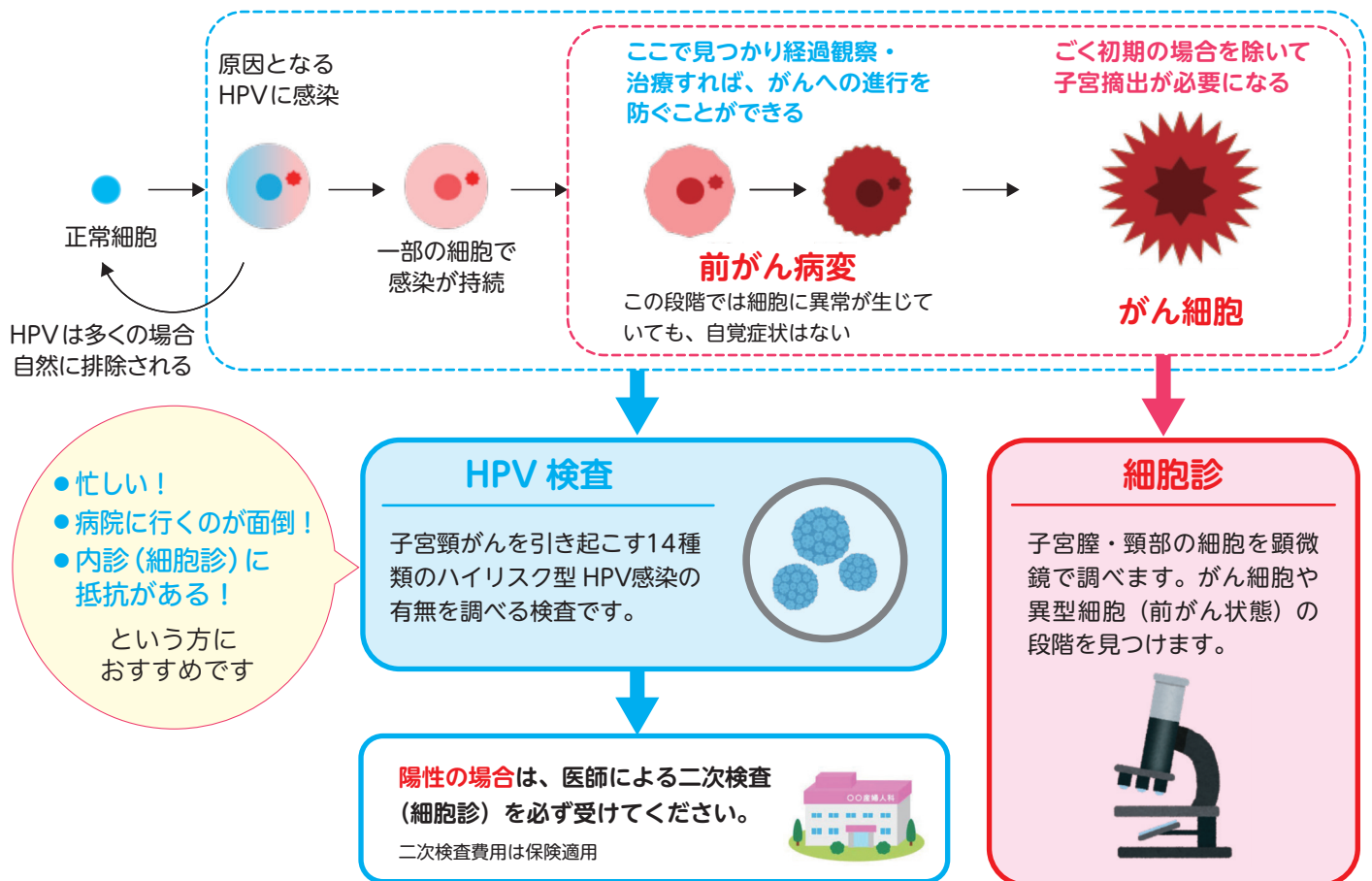
裏面へ



子宮頸がんは HPV の感染の持続が原因

HPVに感染してから数年かけてゆっくり子宮頸がんへと進んでいきますが、感染したからといって必ずしも子宮頸がんに進展するわけではありません。HPVは感染してもほとんどの場合、自己免疫力によって自然に排除されます。しかし、**下図のようにごく一部の人は感染が持続し、前がん病変を経て、子宮頸がんへ進行します。**そのため子宮頸がん早期発見のためには、定期的な検査がとても重要です。

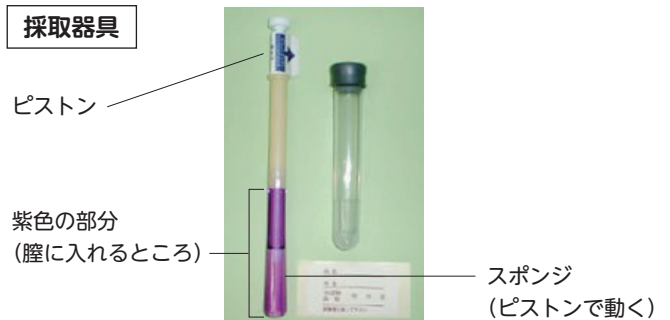
子宮頸がんの進行と検査の種類



HPV 検査キットについて

専用器具を使い、子宮頸部の細胞を自己採取し、リアルタイムPCR法で採取した細胞が14種類の中～高リスク型HPVに感染していないかどうかを調べます。検査結果は「陰性」または「陽性」と報告され、特に持続感染およびがん化率の高い16型、18型に感染の方へは、精密検査受診のご案内を同封します。

※妊娠中の方は申込みできません。



HPV 検査で陽性だったら・・・？

HPV検査で「陽性」だった場合、必ず医師による子宮頸がん検診（細胞診）を受けてください。その結果が「異常なし」であれば、HPV検査が陽性であっても慌てることはありません。

HPV検査で陽性の結果を受け、不安になる方もいらっしゃいますが、約90%が自己免疫により自然消滅します。多くは一過性の感染ですが、気付かないうちに「前がん病変」や「がん」に進行しないように、**HPV検査で陰性を確認するまで一定の間隔で医師による経過観察を続ける必要があります。**

また、HPV検査の結果が「陰性」の場合も、再感染、再活性化する場合があったり、まれにHPVが検出されないこともあります。**早期に発見して有効な治療を行うためにも、引き続き年1回の定期的な検査を受けられることをお勧めします。**